こども・若者意見交換会

しぶかわ キッズオピニオン

しぶオピ

実施報告書

令和7年7月26日（土）実施

渋川市こども政策課

目次

01 開催概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 2

02 当日の流れ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 3

03 意見交換 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 4

a．Aグループ（意見交換テーマ①） ・・・・・ P 5

b．Bグループ（意見交換テーマ②） ・・・・・ P 6

c．Cグループ（意見交換テーマ①） ・・・・・ P 7

d．Dグループ（意見交換テーマ②） ・・・・・ P 8

04 まとめ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 9

01 開催概要

渋川市では、令和７年３月に「渋川市こども計画」をつくりました。
渋川市こども計画は、渋川市に生まれ育つ、こどもや若者、子育てをしている人が、幸せな生活を送ることができるようにするために、こどもに関する取組をまとめたものです。
この取組をもっと良いものにしていくための一つとして、「しぶかわキッズオピニオン」（略称：しぶオピ）を開催し、こども・若者のみなさんの意見を聴きました。

こども政策を推進するにあたり、何よりも大切にするのは、
こどもや若者のみなさんの意見です。
こどもに関する取組・政策を社会のまんなかに据える
「こどもまんなか社会」の実現に向けて、
こども・若者の意見を聴き、
政策に反映する取組を社会全体で推進していきます。

◀しぶオピの様子

■ 日　時　令和７年７月26日（土）9:30-12:00
■ 場　所　渋川市役所本庁舎３階 大会議室
■ 対象者　市内在住または在学の中学生
■ 参加者募集方法　広報しぶかわ７月号、市公式LINE、市HP、
市内中学校や公民館へのポスター掲示等で周知
■ 参加者　17名
・中学２年生　3名
・中学３年生　14名

▶参加者募集のチラシ

02 当日の流れ

当日のタイムスケジュール

■ 9:30- 開会あいさつ

■ 9:45- グループごとに
メンバー同士の自己紹介

■ 9:50- アイスブレイク
※ 緊張を和らげるための簡単なゲーム

■ 10:15- グループごとに意見交換

■ 10:35- 休憩

■ 10:45- グループごとに意見交換

■ 11:05- グループごとに発表

■ 11:20- 気づきの共有

■ 11:30- 総括・閉会あいさつ

■ 自己紹介

グループごとに、①名前、②学年、③もしもひとつだけ願いがかなうならの３つで自己紹介をしました。

■ アイスブレイク

ペーパータワーづくりに挑戦。
紙だけを使って
どれだけ高くタワーが作れるか
グループごとに挑戦しました。

■ 意見交換

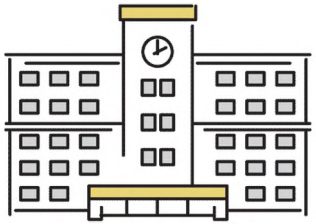
テーマ①「明日も明後日も"行きたい"と思う小・中学校とは？」
テーマ②「みんなの好きな居場所、ほっとできる居場所は？」

・グループごとに、市役所の職員１人がファシリテーターとして、参加しました。
・参加者が考えた意見を付せんに書き込み、模造紙に貼り付けました。
・対話を促進する様々な「問い」が収められた「SOUNDカード™」を活用することで、短い時間でも広く深く話合いができるように工夫しました。また、お菓子や飲物を用意するなどして、緊張せずに話ができるよう楽しい雰囲気づくりに努めました。
・意見交換の最後には、グループごとに、メンバーに共通しているイメージをもとに言葉を紡ぎ、テーマに対するグループの意見をまとめて発表してもらいました。

03 意見交換

4グループに分かれて、2つのテーマについて意見を聴きました。

Aグループ・Cグループ
意見交換テーマ



明日も明後日も"行きたい"と思う小・中学校とは？

Bグループ・Dグループ
意見交換テーマ

みんなの好きな居場所、ほっとできる居場所は？

この実施報告書は、当日の録音や記録をなどを振り返って、
できるだけ、そのままの言葉を残すようにしています。

03
-a

Aグループ（意見交換テーマ①）

意見交換テーマ①　明日も明後日も"行きたい"と思う小・中学校とは？

テーマに対するグループの意見

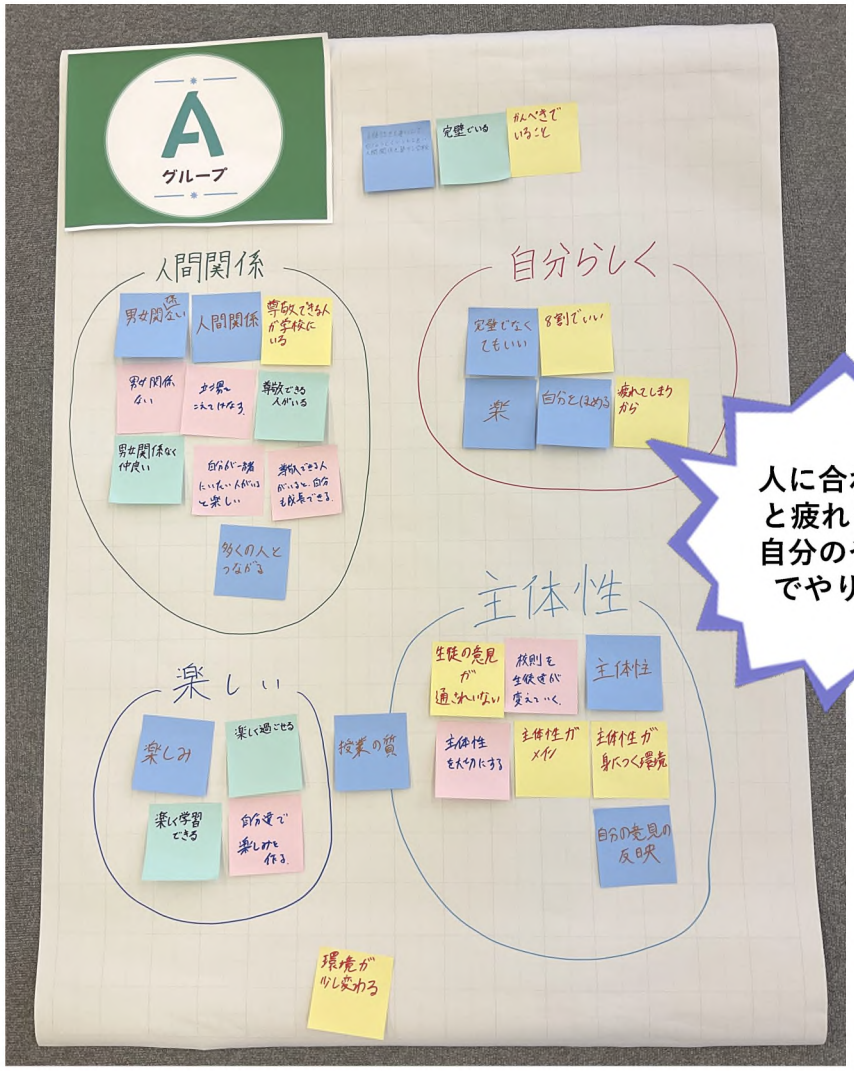
A 班

①明日も明後日も
“行きたい”と思う学校は、

- 主体性を大切にして自分らしくいられる良い人間関係を築ける学校

です。

尊敬できる
先輩・後輩・
同級生・先生が
いると学校に
行きたくなる



03
-b

Bグループ（意見交換テーマ②）

意見交換テーマ②	みんなの好きな居場所、ほっとできる居場所は？

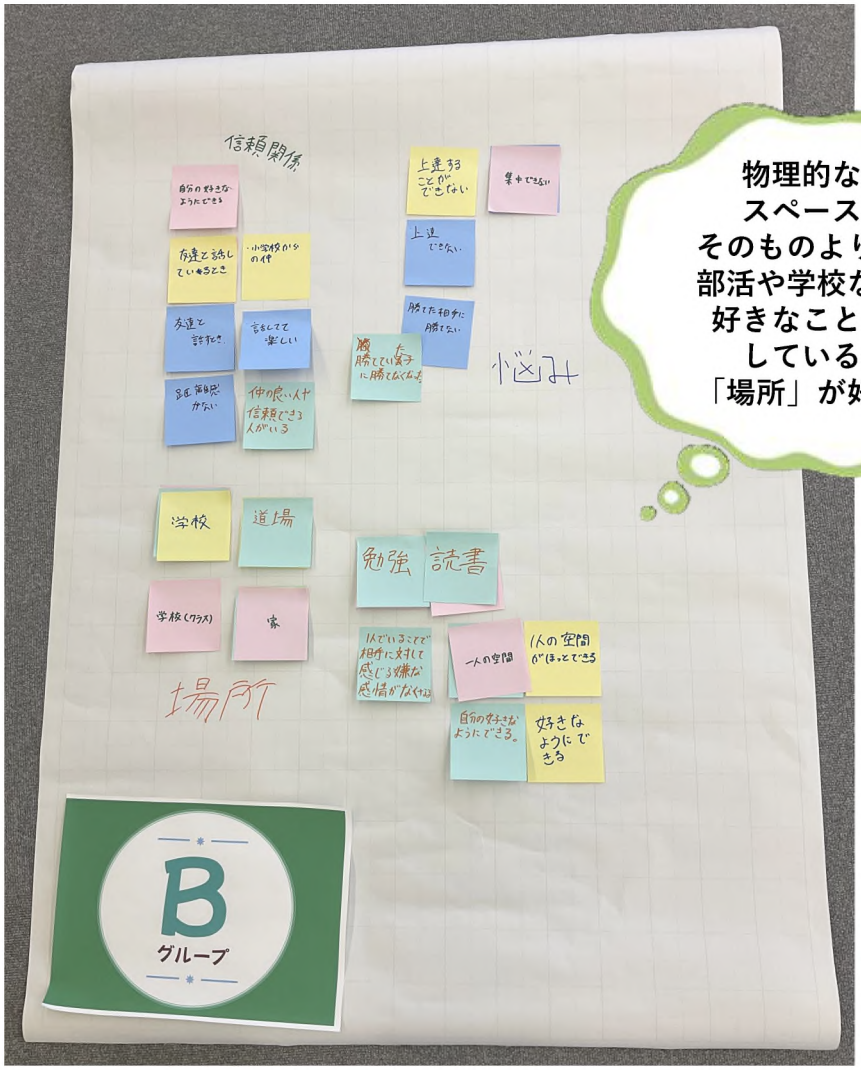
テーマに対するグループの意見

B 班

②好きな居場所、
ほっとする居場所は、

- 家や学校などの仲の良い人や
- 信頼できる人がいる場所

です。



物理的な
スペース
そのものよりも
部活や学校など
好きなことを
している
「場所」が好き

03 -c Cグループ（意見交換テーマ①）

意見交換テーマ①	明日も明後日も"行きたい"と思う小・中学校とは？

テーマに対するグループの意見

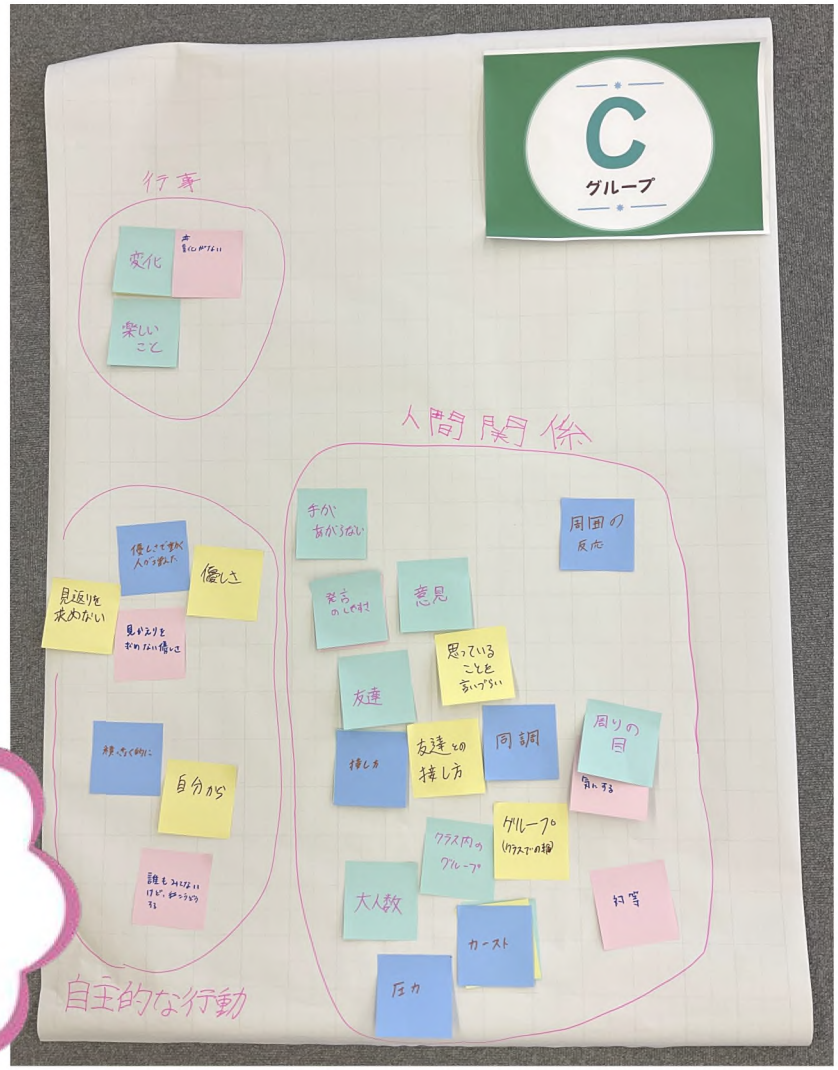
C 班

①明日も明後日も
“行きたい”と思う学校は、

- 一人一人が尊重し合えて、対等な関係を築ける
- 活気あふれる学校

です。

他の人の意見を
気にせず
自分の意見が
言えるといい



03
-d

Dグループ（意見交換テーマ②）

意見交換テーマ②	みんなの好きな居場所、ほっとできる居場所は？

テーマに対するグループの意見

D 班
②好きな居場所、
ほっとする居場所は、
互いに尊敬し合い、包容力 価値感を
否定しない 空間
です。

04 まとめ

★ 意見交換の内容について

- 「明日も明後日も"行きたい"と思う小・中学校とは？」では、「人間関係」、「自分らしく」、「主体性」、「楽しい」などのキーワードが出されました。生徒たちは、学習だけでなく学校生活全体の体験価値が重要であると感じており、学校を「楽しく過ごせる場」として感じられるかどうかが、長期的な通学意欲に影響すると考えています。具体的には、学校生活において人間関係が最も大きな要素であり、友人や先輩・後輩、教師ををはじめとする大人たちとの信頼関係が基盤となると推察されます。さらに、自分らしくいられる場が求められており、自己表現や多様な価値観を認め合える雰囲気が重要です。加えて、主体性・自主的行動を促す機会があると、日々の学校生活に対する前向きさが高まると想像されます。
- 「みんなの好きな居場所、ほっとできる居場所は？」では、「信頼関係」、「場所」、「人間関係」、「他人」、「ネガティブ」、などのキーワードが出されました。求める居場所としては、「信頼関係を基盤とする居場所」や「安心して自己開示できる場所の確保」が最も強い要望として整理されました。生徒たちは、物理的な「場所そのもの」だけでなく、人間関係の質や場の使い方が居場所の良し悪しに強く影響してくると考えています。
- 両テーマを統合してみると、共通の要点は、「居場所の質を高める人間関係」、「安心・信頼のある場づくり」、「主体性を引き出しつつ、悩みや困難を共有できる仕組みの整備」となりました。

★ 意見交換会の実施について〈参加者の声〉

- 参加者17名にアンケートを行いました
- 参加者アンケートの結果、「しぶオピに参加してどうでしたか」という質問では、「とても楽しかった」と答えてくれた人は14名、「楽しかった」と答えたくれ人は3名となり、参加者の満足度の高いイベントになりました。
  特に、満足度が高かった理由として、「今まで思っていたことを共有できたから」、「普段自分だけでは考えないことを、他の学校の子と交えて意見交換するという貴重な体験ができたから」という回答がありました。
- 「こんなことについて意見を言いたいなど、取り上げてほしいテーマがあれば教えてください」という質問では、「学校で生活する上での自由・制限」、「こどもたちが遊べる場所」、「部活動の地域移行」、「学校の設備」などの回答がありました。
- 「みんなの意見を聞くのに、どのようにすれば、みんながこのような意見交換会に参加してくれると思いますか」という質問には、「学校にアンケートを配布する」、「安心できる、信頼している人がいると意見を伝えやすいと思う」、「しぶオピのような、他校の人と直接意見交換ができるもの」、「ＳＮＳによるアンケート」 などの回答がありました。今後、こども・若者のみなさんの意見を聴く方法を検討する際には、アンケートの意見を参考にしながら実施していきます。

今回、こどもや若者の意見を聴く
「しぶかわキッズオピニオン」を実施して
たくさんの意見をいただきました。

みなさんからいただいた意見は、
こども施策を考えていく際の参考にします。

参加していただいたみなさん、
ご協力いただいた保護者のみなさん、
ありがとうございました。